

委員 ※順不同	(委員意見時) 柱	意見	具体事業	取組み	方向性	柱	その他意見の内容
A	—	常に良い方向にアップデートするしくみの具体的な方法がない				その他	常に良い方向にアップデート、推進するしくみ
A	—	目標5ポイントアップは難しいのでは？外部評価委員会での評価ではどうか				その他	達成困難な目標設定
A	—	文字から映像へ。資料も映像にしては？				その他	資料の可視化
B	—	まちづくりは「地域における市民による自律・継続的な環境改善運動」を意味する				その他	まちづくりの定義
B	—	そこそこ活発な自治会活動を活用して、参加住民の意見を聞く	(行政の)アウトリーチ型の情報共有・把握	企業、団体等との連携	知る努力と伝える努力	共創	
B	—	声を広く拾うためにインターネット上の議論を可能にするICTのシステム構築	インターネット上の議論システム	学年・世代等に応じた伝え方・かかわり方	知る努力と伝える努力	共創	
C	くらし	地域のいろいろなまとめ役を引き受けてくれる方に出てきてほしい		地域の担い手育成	持続可能	くらし	
C	自由意見	廃校リノベーションした施設が土日祝に賑わっている。	廃校リノベーションによる多機能・多用途施設	シェア	持続可能	くらし	
D	共創	企業や学校等に協力を仰ぎ、授業の一環として市のHP等を見てもらう	企業等からの情報提供	企業、団体等との連携	知る努力と伝える努力	共創	
D	共創	未完成のまちづくり本により地域への愛着がわく		学年・世代等に応じた伝え方・かかわり方	郷土愛の醸成	共創	
D	ひとまちしごと	Uターン、Iターンの市内就職者に対する支援（奨学金の一部返金など）	Uターン、Iターンへの支援	UIIターンの促進	人を呼び込む	ひとまちしごと	
D	ひとまちしごと	仮設住宅や空き家、中山間地区のリノベーション（リノベーションスクールを開催しての話題作り）	廃校リノベーションによる多機能・多用途施設	話題性の追求	人を呼び込む	ひとまちしごと	
D	ひとまちしごと	フランティの更なる推進（小中学生向けのフラ授業、部活動の展開）	小中学生向けのフラ授業部活動の展開	産業・雇用の創出と発展	今ある資源の有効活用	ひとまちしごと	
E	共創	計画を伝える際にストーリー性のある映像化する	映像化	学年・世代等に応じた伝え方・かかわり方	知る努力と伝える努力	共創	
E	ひとまちしごと	通信技術の進展により「どこかに行かなくてよい」まち、そこから「外から人を呼び込む」まちにしていく			今ある資源の有効活用	ひとまちしごと	
E	ひとまちしごと	「住みたいまち」が人によって違うので、最大値・現実味で優先順位を				その他	住みよさの最大化の実現
E	自由意見	目標は3つくらいがよいのでは（達成するために）				その他	達成困難な目標設定
E	自由意見	目標に向かう施策などが間違っていないことを「常にアップデート」して検証してはどうか				その他	常に良い方向にアップデート、推進するしくみ
E	自由意見	計画をつくりながら、同時に実行していく部分もあるのではないか				その他	経営指針の推進体制
F	ひとまちしごと	大手企業と連携して地方の支社に行って一定期間転勤するしくみを構築	大手企業等との連携	企業、団体等との連携	人を呼び込む	ひとまちしごと	
G	共創	市民が見やすいよう、A3両面位のちらしを作る	明快な広報	学年・世代等に応じた伝え方・かかわり方	知る努力と伝える努力	共創	

委員 ※順不同	(委員意見時) 柱	意見	具体事業	取組み	方向性	柱	その他意見の内容
G	共創	ホームページ担当を付け最新のデータにアップデート	専属職員の設置	組織・体制の連動	知る努力と伝える努力	共創	
G	共創	医師会などと連動して、市の取組を広報する	企業研修等の活用	企業、団体等との連携	知る努力と伝える努力	共創	
G	ひとまちしごと	スポーツ×交通。いわきFCスタジアムなどを駅からのアクセスなどが良いところに建設する	市外からのアクセスを意識したまちづくり	人、施設、交通を集中させる取組み	コンパクト+ネットワーク	ひとまちしごと	
H	自由意見	市職員が自らの生活する地域で地域包括ケア構築に関わる	市職員の意識改革、ボランティア	意識改革、意識醸成	つながり・広がり	共創	
H	自由意見	小学生から高校生までの系統的な地域包括ケア教育（小4:認知症絵本教室、小6:がん特別授業、高齢者等が子どもに昔の遊び・手芸・工作を教える場）	系統的な地域包括ケア教育	世代、地域のつながり	安全・安心	くらし	
I	自由意見	「常に効果的な仕組みに変化させる」具体的な事務イメージはどういったものか				その他	常に良い方向にアップデート、推進するしくみ
J	共創	各分野のキーマンに絞って情報共有を頻繁にできる場を創出し、参画の輪を増やす	分野のキーマンを軸としたまちづくり	分野、領域のつながり	つながり・広がり	共創	
J	ひとまちしごと	専門系の高校と企業のマッチング	高校生、大学生への就職支援	産業・雇用の創出と発展	今ある資源の有効活用	ひとまちしごと	
J	くらし	若者～中高年世代に行政サービスについての認知度を高めるためアプリを造成する	行政サービス発信アプリ	学年・世代等に応じた伝え方・かかわり方	知る努力と伝える努力	共創	
J	くらし	高齢者向けに行政サービス認知度を高めるため、「igoku」の横の連携を強化する	「igoku」を活用した情報発信	学年・世代等に応じた伝え方・かかわり方	知る努力と伝える努力	共創	
J	くらし	若者～中高年世代向けの行政サービスの強化に力を注ぐ割合を増やす	世代間同居を見越した行政サービス	世代、地域のつながり	安全・安心	くらし	
J	自由意見	様々な分野で「いわきをよくしたい」と活動している人・団体を取り上げ、目立たせ、つなげる	キーマンへスポットをあて、マッチングを図る	分野、領域のつながり	つながり・広がり	共創	
J	自由意見	「いわきを良くしたい」という意識共有が常々図られる場を作り、意識を広げ、活性化していく			つながり・広がり	共創	
K	共創	地元に戻りたくなる魅力あふれる労働環境を各企業が取り組む（インターンシップの強化）	魅力あふれるはたらく環境整備 インターンシップの強化	UIターン促進	人を呼び込む	ひとまちしごと	
K	ひとまちしごと	AIによる自動運転で利便性を向上させつつ子ども・高齢者が安心して利用できるシステムを構築する	公共交通機関や自家用車のAIによる自動運転	スマート化×交通	持続可能	くらし	
K	ひとまちしごと	太陽光パネルや蓄電池設備の設置、EVの普及など環境にやさしい暮らしの確保	環境にやさしい暮らしの確保	自然環境を守る	安全・安心	くらし	
K	ひとまちしごと	原子力発電所の安全な廃炉作業・廃炉技術の構築	原子力発電所の安全な廃炉作業・廃炉技術の構築	自然環境を守る	安全・安心	くらし	
K	ひとまちしごと	外国人労働者の受け入れ体制の構築		多文化共生の推進	人を呼び込む	ひとまちしごと	
K	ひとまちしごと	女性が働きやすい職場環境・育児しやすい環境を整えて地域人財を雇用する	魅力あふれるはたらく環境整備	産業・雇用の創出と発展	今ある資源の有効活用	ひとまちしごと	
K	くらし	先進技術を活用して事務作業などを自動化（無駄を省く）する	先進技術を活用した事務作業の自動化	スマート化×行政	持続可能	くらし	
K	くらし	東日本大震災の教訓を踏まえた防災体制、危機管理体制を構築する	防災・危機管理体制の確立	防災・減災・克災	安全・安心	くらし	

委員 ※順不同	(委員意見時) 柱	意見	具体事業	取組み	方向性	柱	その他意見の内容
K	自由意見	多様性に富む地域資源から誇れる素材を発掘調査し、様々なネットワークを活用した情報発信を行い交流人口を拡大する	地域資源の発掘と情報発信による交流人口の拡大	地域の活力向上	知る努力と伝える努力	共創	
K	自由意見	中山間地域の廃校のリノベーションにより、アートスペース併用のカフェ、ライブ会場、図書館など多様な利活用を進めて地域活性化を図る	廃校リノベーションによる多機能・多用途施設	シェア	持続可能	くらし	
L	ひとまちしごと	森林整備と木材のカスケード利用の推進による雇用創出と資源の有効活用を図る	森林整備による防災力の強化	自然環境を守る	安全・安心	くらし	
L	自由意見	先ずは、いる人、あるもの、できること、を念頭に動き出し、小さな規模から回していく（動いていく）	できることから始めていく	スモールステップ	動きたいを形にする	共創	
M	共創	子どもにも伝わる絵本・漫画・動画など、ターゲットを絞った複数コンテンツで情報発信する	ターゲットを絞った複数コンテンツでの情報発信	学年・世代等に応じた伝え方・かかわり方	知る努力と伝える努力	共創	
M	共創	年代別に、ゴール（何のために何をするか、なにをすればどうなるか）をイメージできるようにする	イメージしやすい情報発信	学年・世代等に応じた伝え方・かかわり方	知る努力と伝える努力	共創	
M	共創	しくみとして「地域」を捉えるため「自治会」を再編し、区長のモチベーションを高める。	自治会の再編	地域の活力向上	動きたいを形にする	共創	
M	ひとまちしごと	自治会のありかたの見直しにより、まちづくりに関わりたい高校生、大学生を取り込み、少しずつ動かしていく		スモールステップ	動きたいを形にする	共創	
M	共創	地域、職場、クラブなどと連携して関心の薄い方を巻き込む	企業研修等の活用	企業、団体等との連携	つながり・広がり	共創	
M	ひとまちしごと	人口増の傾向にある自治体に倣って「社会福祉政策（保育政策など）」に力を入れる（特に「とがった」政策に）		社会福祉施策の更なる充実	今ある資源の有効活用	ひとまちしごと	
M	自由意見	「市民意見を取り入れて…」といった場合の「市民」は大抵が高齢者。高齢者の意見は保守的であることが多いのですべてに迎合する必要はない				その他	意見の取り入れ方
M	自由意見	昔からの「根性論」が投影されている部分がないか点検する必要がある。科学的根拠の積み上げで施策も創り上げていくべき				その他	経営指針の推進体制
M	くらし	行政も市民も「できること」をするのではなく「すべきこと」に取り組むべき。住みやすい地域は小さいことの積み重ねである。	小さなことでも「すべきこと」に取り組む	スモールステップ	動きたいを形にする	共創	
M	自由意見	行政は行政でなければできないことだけをすべき。「暮らし」を大切にすること、きっちり、市民に伝えるべき。				その他	テーマ設定の理由付け
N	共創	HP、広報誌などの直線的、一方通行の情報提供方法ではなく、商工会議所・経済同友会等の組織を通じて市内企業へ周知し、事業所から従業員へ周知するしくみ。	企業等からの情報提供	企業、団体等との連携	知る努力と伝える努力	共創	

委員 ※順不同	(委員意見時) 柱	意見	具体事業	取組み	方向性	柱	その他意見の内容
N	ひとまちしごと	優先順位を決めて目標値を定め一つずつ結果を出していく。(6号バイパス南進、小名浜道路など)				その他	テーマの重点選別化 目標の具体化
N	ひとまちしごと	広域連携を前提に都市計画を実行する。(医療・教育で北茨城市・高萩市と連携など)	広域連携	シェア	持続可能	くらし	
N	ひとまちしごと	勿来地区を副都心に位置付け、従来と異なる戦略ゾーンにする	地区による役割分担	人、施設、交通を集中させる取組み	コンパクト+ネットワーク	ひとまちしごと	
N	くらし	業務効率化(自動化、省力化、意識改革)。部署を超えて情報共有し行動できる仕組み	業務効率化	スマート化・シェア	持続可能	くらし	
N	自由意見	経営の捉え方が弱い。より具体的に掘り下げ行動結果レビューと見直しの一連のサイクル頻度を決め、評価組織を明らかにすべき。(市長が妥当)				その他	経営指針の推進体制
O	共創	堅苦しくならないように、民間企業、団体を活用してSNSで情報発信してもらおう(市は情報発信のコントロールをおこなう)	民間と連携した情報発信	企業、団体等との連携	つながり・広がり	共創	
O	共創	第一線級でまちづくりに関わる方→一定程度まちづくりに関わる方→新たにまちづくりに関わる方というように、隣接する階層への繋がり(広がり)を意識する	分野のキーマンを軸としたまちづくり	分野、領域のつながり	つながり・広がり	共創	
O	ひとまちしごと	周りの大人が笑顔で、元気な背中を見せられるような施策を実施する	笑顔、元気な大人の背中を見せる	UIターン促進	郷土愛の醸成	ひとまちしごと	
O	ひとまちしごと	市民会館の役割ごとの再整理・再整備。地区による役割分担	地区による役割分担	人、施設、交通を集中させる取組み	コンパクト+ネットワーク	ひとまちしごと	
O	くらし	行政の意思決定に「スピード化」の視点を取り入れる。	意思決定のスピードアップ	スマート化×行政	持続可能	くらし	
O	自由意見	計画を立てても、決めたことを実行できていない				その他	達成困難な目標設定
O	自由意見	予測できるのはせいぜい先の3年程度。「3年以内に〇〇を実行する」などの目標を立てても良いのではないか				その他	目標の期間 目標の具体化
P	自由意見	重点テーマ=重点投資する分野。「なぜ重点投資するのか」を記載する必要がある				その他	テーマ設定の理由付け
P	自由意見	従来の総花的な計画からの脱却をいきなり行うのは難しいのでは。				その他	計画の構成
P	自由意見	条例を推進するしくみが個別計画で、施策を導き出すのが総合計画ではないか。リーダーシップを発揮できるような総合計画にすべき				その他	計画の構成
P	自由意見	あるなしを含んで「目標」はあったほうがよい				その他	目標の具体化
P	自由意見	いわきは「自然・地理環境」が強いが、「暮らし・文化」弱い。これからは「暮らす」町にしていく必要がある				その他	テーマ設定の理由付け
Q	共創	市民に分かりやすい「SDGs」の視点を取り入れて施策を実施、公表していく	SDGsの視点	学年・世代等に応じた伝え方・かわり方	知る努力と伝える努力	共創	

委員 ※順不同	(委員意見時) 柱	意見	具体事業	取組み	方向性	柱	その他意見の内容
Q	共創	行政職員が、土日祝日に団体の事業に生で触れる。 (手伝いなど) そのために、職員の意識を変える。 ベテランの団体の方からの愚痴(ニーズ)を把握する	市職員の意識改革、ボランティア	意識改革、意識醸成	つながり・広がり	共創	
Q	自由意見	「住みよさ」と「まちづくりへの参加」は反比例する のでは。どちらかという、「まちづくり」の方面に 力を入れるべき				その他	テーマの重点選別化
R	共創	市民は知る努力。情報を受けるばかりでなく、市民団 体や個人で取り組んでいる情報を行政や関係団体、個 人に伝え、情報共有できる仕組みづくり		意識改革、意識醸成	知る努力と伝える努力	共創	
R	共創	行政は伝える努力。情報提供に関わる職員の意識改革 を進め、より積極的な情報発信、説明責任を果たす仕 組みづくり	AI、IoT技術の活用 人間味を持った広聴活動	意識改革、意識醸成	知る努力と伝える努力	共創	
R	ひとまちしごと くらし	人口を増やす：U・Iターン課、コンパクトシ ティ：まちづくり課	取組みに連動した組織を構築	組織・体制の連動	人を呼び込む	ひとまちしごと	
R	ひとまちしごと くらし	まちかどレポート：まちかど課 情報の一元管理・提供をする。研修等の企画やボラン ティア等と連携しフリーペーパーを作成する	取組みに連動した組織を構築	組織・体制の連動	知る努力と伝える努力	共創	
R	ひとまちしごと くらし	魅力ある中心市街地として、人、施設、交通を集中さ せる		人、施設、交通を集中させる 取組み	コンパクト+ネットワーク	ひとまちしごと	
R	ひとまちしごと くらし	コンパクトシティは安全第一。ハザードマップの危 険地域は避ける。災害に強いまち	ハザードマップを活用したま ちづくり	防災・減災・克災	安全・安心	くらし	
R	ひとまちしごと くらし	田町、白銀町など夜の盛り場も欠かせない	夜の賑わいの創出	人、施設、交通を集中させる 取組み	コンパクト+ネットワーク	ひとまちしごと	
R	自由意見	現在の組織の枠の中で。市職員が、市民団体の会員と なり、市民団体と行政の橋渡し役になる。ボランティ ア活動や市民活動を行う。	市職員の意識改革、ボラン ティア	意識改革、意識醸成	つながり・広がり	共創	
R	自由意見	行政マン、ビジネスマン、自営業者、教職員…あらゆる 市民が「異業種交流」ができる場の構築	異業種交流できる場	分野、領域のつながり	つながり・広がり	共創	